

シリーズ④^{ふるさと} 笠間に生きる人たち

かさま市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡ください。

み る く の 会

代表者 太田寛子(南友部)
設立 昭和54年
会員 17人



会員の皆さん



点字講習会



点訳中



太田寛子さん(会長)より

好きな本が見えない人にも 読んでほしい

点訳ボランティアを通して、いろいろな障害者と知り合いになりました。潮来のあやめを見に行った時、目が見えない人が「いい匂いですね」と言われた事が忘れられません。繊細な感覚に、気づかされることも多くあります。社協の講座生の一人として夢中で点字を打つことと読むことを覚えてから三十年余りがたちます。点訳は根気のいる作業ですが、より発展的なものとして継続していきたいと思っています。

現在、点訳者の養成と技術の向上を目指し、点字の学習と新規加入者のための講座を月2回開催しています。また、笠間市広報の点訳、点字プリント、資料の配布、小中学校の点字体験学習のお手伝いなどをし、熟練者は主として県立点字図書館に収蔵する図書 の点訳をしています。視覚障害者の依頼もあり、楽譜や歌詞カード、商品の取扱説明書の点訳のほか、外出時のガイドヘルパーなど多岐にわたる活動をしています。点字は視覚障害者だけの文字です。それをわかりやすくさまざまな情報をお伝えし読んでいただく、そのことが点訳者である私たちの喜びであり目標です。



サマーフェスタにて点字体験中



親子体験